

◆人間探索者の導入

探索者は、友人である猫先 マオから『一泊二日の温泉旅行』に誘われる。

どうやら、取材旅行の意味合いがあるらしくある条件を飲んでくれるのなら全額、旅費を彼女が持つとのこと。その条件は『探索者の飼い猫』を連れてくる事。どうやら宿泊先はペット可の旅館らしく、そこに猫に関する噂（◆登場 NPC を参照）があるらしい。渋るなら、猫を飼っていない友人は手を合わせてついて来てくれるように頼んでくる。

◆猫ヶ川村の導入

友人が運転する車（宿泊先）でやってきた『猫ヶ川村（ねこがかわむら）』は、かなり異世界らしく、最近になって観光に力を入れ始めた穴場の温泉スポットらしい。何よりも村の名前の通り、猫の多い村のようだ。友人のご当地グルメ話（主に、温泉まんじゅう）を聞いているうちに、目的地にたどり着いた。

◆旅館にてチェックイン

宿泊先は、木造建ての建物のようだ。『猫川旅館』と立てかけられた看板の通り、川沿いに建てられた立派な門構えが出迎え、傍には暖かな日差しでうたた寝している猫が目につく。

入口をくぐり、受付で友人がチェックインを行っている

「本日はお越しいただき、有難うございます。」「この後のご予定などございますか？もし、お時間があるようでしたら、土地神様へご挨拶をしていただければ嬉しいです。お戻りになられる頃に、お部屋へお菓子とお茶をご用意しておきます」と、荷物を預かりながら女将さんから提案される。（※猫探索者はここで預かってくれます）

→土地神様とは

猫川旅館の裏側にある『猫ヶ川寺（ねこがかわでら）』に祀られている7体のお地藏様を指している。このお寺が猫ヶ川村で、温泉以外で唯一の観光地だと教えてくれる。

※探索者が『行かない』と言った場合は、猫先（NPC）が訪問したことにして情報を渡して下さい。

◆猫ヶ川寺にて

女将さんから教えてもらった場所へ向かうと、こじんまりとしたお寺にたどり着く。『猫ヶ川寺（ねこがかわでら）』と書かれた門をくぐると、目の前に7体のお地藏様が並んでいる。探索者たちが見ていると、併設されている建物から住職が出てきた。

「おお…お客さん（は珍しい。よ、こそ、猫ヶ川村（ねこがかわむら）にいらつやいし。」「もし言（い）けれど、なかなかお披露目する機会のないお寺の話を聞いてみてくれませんか。」と、女将さん（は）のような住職が話しかけてくる。

→住職の話

①猫ヶ川寺は7体のお地藏様を祀（まつ）っている。

人間が死んだあとに「六文銭」を持って三途の川を渡る。その後、六つの世界「六道（ろくどう）」を巡った後に、また人として現世に生まれることができる『六道輪廻』を説いているためだ。

②7体のお地藏様はすべて同じ人物を表している。6体はそれぞれ、同人物が六道（上から天上界・人間界・修羅界・畜生界・餓鬼界・地獄界）を巡った時の様子を表しており、最後の1体は六道を巡り終えて『人間たちが暮らしている世界』を守護する観音様になった姿を現している。

③人間界のお地藏様のみ、首から六文銭に当たる『古い貨幣』を1枚首から下げている。

以上の、情報を得る。